

第5学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「わたしたちの生活と森林」(9時間)

2 小単元の目標

森林資源から見た国土の自然環境と国民生活との関連についての学習を通して以下の資質・能力を育てる。

- ① 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により、国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。また、地図帳や衛星写真など各種の資料から情報を読み取って調べ、集めた情報を関連図にまとめることができるようにする。〈知識・技能〉
- ② 森林の分布や働きに着目して国土の環境を捉え、森林の分布と国土の保全を関連付けたり、様々な人々の森林保全の取組を相互に関連付けたりし、森林資源の果たす役割や国民一人一人が協力して森林資源を保全していくことの大切さについて多角的に考え、文章で記述したり、白地図や関連図にまとめたことを活用して自分の考えを説明・主張したりできる。〈思考力・判断力・表現力等〉
- ③ 森林の機能や保全への取組に関心をもち、森林資源の保全について学習問題を見だし、見通しをもって主体的に学習問題を解決しようとするとともに、森林保全の課題に気付いてよりよい関わり方を考えることを通して、国土への愛情や国民としての自覚がもてるようにする。〈学びに向かう力・人間性〉

3 本小単元について

(1) 学習指導要領との関連

- ① 本小単元は、第5学年内容(5)アの(イ)と(ウ)及びイの(イ)を基にした「地理的環境と人々の生活」及び「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」に関する内容で構成したものである。ここでは、「森林の育成や保護に従事している人々」を取り上げ、様々な人々の協力関係により保全された森林資源が国土の保全など重要な役割を果たしていることを扱うことが示されている。
- ② 内容の取扱い(5)ウに示された「国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること」については、「まとめる」段階で、児童がこれからの森林の育成・保護について相互関係的な視点で捉え、「いかす」段階で、森林資源の保全のおける課題に気づき、国民の一人として自分たちに協力できることを考えたり、選択・判断したりできるようにすることを意図している。

(2) 学年部会の研究内容との関連

① 社会生活についての理解を深め、社会との関わりを考えられる教材の工夫

日本の国土における森林の広がりや森林の機能などを調べる概観的な学習を行ったあとに具体的な事例を通して森林を保護・育成する取組について調べる。事例地としては、東京都の森林を取り上げる。児童にとって、自分たちが住む東京都の「都会であり森林が少ない」というイメージとは逆に、東京都は約4割が森林であることは興味・関心を高めることができると考える。また、かつて生産が減っていた多摩産材は、約60年前に植林した森林が育ち出荷できる状態になっていること、花粉症対策で主伐を行う施策を進めたことなどの理由から、近年、生産が増えているという点も教材として魅力的である。

森林の育成や保全する取組には、林業家だけでなく行政・企業・市民が協力して取り組んでいくことが大切であることを相互関係的な視点にも着目して捉えさせるとともに、森林資源の保全のおける課題に気づき、児童が国民の一人としてどのように森林の育成や保全に向き合うと良いか考えることができるようにする。

② 社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の工夫

- ・「つかむ」段階で森林資源の分布に着目できるよう、衛星写真や森林面積の割合を示した統計資料などを活用して調べる活動を通して我が国における森林の広がりを捉え、国土の環境の特色を理解できるようにする。
- ・「つかむ」段階で森林資源の働きに着目できるよう、森林の機能を表現したイラストを活用して調べる活動を通して森林の働きを理解した上で、国土保全の重要性に関心をもって追究できるようにする。
- ・「調べる」段階では、森林の働き、行政・企業・市民による森林の育成・保全の取組について、1時間ごとに分かったことや考えたことを関連図にまとめ関連付けて考えることで、様々な立場の人が連携・協力することで進められていることが理解できるようにする。
- ・「まとめる」段階では森林と国土保全を関連付けたり保全の取組を相互に関連付けたりして、国土保全に重要な役割を果たす森林が様々な人々の工夫や努力により守られていることを理解できるようにする。
- ・「いかす」段階では、森林保全に関わる課題があることに気付くとともに、課題を解決しようとする取組を調べ、児童が国民の一人として国土を保全についてどのように考えたり関わったりするべきかを表現する。

4 教材の構造について

本小単元「わたしたちの生活と森林」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)を即して教材を分析し、以下のように教材構造図に整理した。

学習指導要領 第5学年内容(5)

ア(イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。
 ア(エ) 地図帳や各種資料で調べ、まとめること。
 イ(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して、公害防止の取組を考え、その働きを考え、表現すること。(内容の取扱い)
 イ イの(イ)及び(ウ)については、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。



6 小単元の指導計画（全7時間）

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動(○) 問い(◆) 予想される児童の反応(・)	◎資料 □指導上の留意点 【】評価 (★見方・考え方)
	①日本の森林の森林面積の割合が世界的にも高いことや森林には様々な役割や働きがあることを理解し、森林について関心をもつ。	○身の回りにはどんな木製品があるのか話し合う。 ・鉛筆 ・机 ・ドア ・ノートなどの紙 ・木材は様々なところで使われていて身近なものだ。 ◆日本にはどのくらいの森林があるのだろうか。 ○日本列島における森林の分布の様子について調べる。 ・日本の森林率は67%で、世界で第3位だ。 ○森林の役割や働きを予想してから調べる。 ・木材を生み出している。 ・様々な役割がある。 ----- ・日本の森林面積の割合がこんなに高いことに驚いた。 ・森林には、水源となったり、土砂災害を防いだりする役割がある。	◎将棋の駒と台 ◎新国立競技場 ◎森の動物 ◎ランドサットの衛星写真 ★森林の分布に着目できるような衛星写真で広がりを見覚的に捉えさせる。 【知識a】【知識b】 ◎森林の働き(絵・文章) ★森林の様々な機能に着目できるようにイラスト等を使って視覚的に捉えさせる。 【態度】
つかむ	②森林には、天然林と人工林があり、人工林が荒れることで、土砂災害の被害が大きくなっていることを理解する。	◆日本の森林の現状はどうなっているのだろうか。 ○天然林と人工林の違いについて話し合う。 ・人工林が半分以上あるなんて知らなかった。 ・人工林は、だれかが手入れをしているのかな。 ○日本の人工林の現状や土砂災害が起きた原因を調べる。 ・人工林が荒れている。 ○森林の役割と土砂災害の発生件数から考えたことを話し合う。 ・森林を守るために誰かが何かをしていないのだろうか。 ----- 森林には、天然林と人工林がある。人工林が荒れることで、土砂災害を防ぐ役割が保たなくなっている。	◎天然林と人工林の写真 ◎人工林の割合のグラフ ★天然林と人工林の違いに着目できる写真を提示し、グラフから人工林が多いことを捉えさせる。 【知識b】 ◎荒れている人工林の写真 ◎日本の土砂災害の件数 □機能の低下が大きな被害になることに気付かせる。 【思・判・表】
	③疑問に思ったことから学習問題をつくり、学習計画を立てる。	○日本の森林の現状を知り、疑問や考えたことを話し合い、学習問題を立てる。 ・荒れている人工林が増えている。 ・林業家だけでは日本の森林が守れないのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学習問題：大切な森林を守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。</div> ○調べることをまとめ、学習計画を立てる。	★学習問題が設定できるような気付きや疑問を分類して話し合えるようにする。 【態度】
しらべる	④林業に携わる人々の仕事の内容、工夫や努力していることを理解する。	◆林業家は、どのように人工林をつくり、育てているのだろうか。 ○林業に携わる人々がどのように人工林を育てているのかを調べる。 ・育苗 ・植林 ・下草刈り ・枝打ち ・間伐 ・運搬 ----- 森林を育てるためには様々な仕事があり50~60年という長い期間と手間が必要である。人工林を守るといことは、木を切って使いた植えるというサイクルが回っていくことだ。	◎HP「東京の木・森のしごと」 ★人工林の育成の工程に着目できるように作業手順の流れ図に整理させる。 【技】 □HPの映像資料と教科書や資料集を関連付けて調べる。 ◎林業家の方の話 【知識c】【知識d】
	⑤東京都の森林の保護・育成のために行政が行っ	◆林業家と国、東京都は森林を保護・育成を進めるために、どのようなことをしているのだろうか。 ○資料を基に、国や都が林業家と協力して、森林を保護・育成する取組を調べる。 ・大型の機械を導入して、少ない人数でも効率よく作業でき	◎東京都森づくり推進プラン ◎都からの補助金 □東京都の「森づくり推進プラン」を参考に分かりやすいように資料を加工する。

	<p>ている取組について理解する。</p>	<p>るように補助金を出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都では木育を進め、都民に多摩産材の利用に関心をもってもらうとしている。 <p>森林を守るために、国や東京都は様々な取組を行い、林業家を応援したり林業家の人々と協力したりしながら森林の整備をしている。</p>	<p>【技】</p> <p>★東京都と林業家の関係に着目できるよう資料提示や板書を工夫する。</p> <p>◎林業家のNさんの話</p> <p>【知識e】</p>
	<p>⑥ 東京都の森林の保護や育成のために企業や市民が協力している取組を理解する。</p>	<p>◆企業や市民団体は、森林を保護・育成を進めるために、どのようなことをしているのだろうか。</p> <p>○企業、市民が林業家と協力して森林を保全する取組や支援する取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業の森」では、企業が森林を保全するためにかかる費用を出したり、社員が植林をしたりしている。 ・東京チェーンソーズでは、市民から森林を整備する費用を募って、森林に関心を高める様々なイベントをしている。 ・青梅りんけんの人々は、里山を憩いの場所として整備していくことで市民が森林に関心をもてるよう努めている。 <p>森林を守るために、企業や市民団体も林業家と協力しながら、様々な取組を行っている。</p>	<p>◎企業の森</p> <p>◎とうきょう林業サポート隊</p> <p>◎東京チェーンソーズ「美林倶楽部」の取組</p> <p>◎青梅りんけんの取組</p> <p>□企業や市民の森林の保護・育成への関わり方を具体的に捉えられるようにする。</p> <p>【技】</p> <p>★林業家と行政、企業、市民との相互関係に着目できる資料提示や板書を工夫する。</p> <p>【知識f】 【知識g】</p>
まとめ	<p>⑦ 調べたことを関連図にまとめ、学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>◆どのように森林を守っているのだろうか。</p> <p>○調べてきたことを基に、関連図にまとめる。</p> <p>○学習問題に対する自分の考えを書く。</p> <p>日本には国土を守る森林が広がり私たちの生活を支えているけど、荒れた人工林が増えてきている。大切な森林を守るために、林業家や行政、企業、市民団体などの様々な人々の協力によって整備をしたり、育てられたりするようになってきている。</p>	<p>◎関連図</p> <p>□林業家、行政、企業、市民の立場の人の取組の関連を意識させてまとめさせる。</p> <p>★関連付けて考えられるよう相互の取組を矢印でつないだり矢印の意味を説明させたりする。</p> <p>【思・判・表】</p>
いかす	<p>⑧ 日本の森林が抱える課題について捉え、解決するための取組に関心をもつ。</p>	<p>◆森林を守るためにどのような課題があるのだろうか。</p> <p>○日本の森林を守ることに関する課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業就業者が年々減り続けている。 ・人工林の蓄積量が増えている。 ・国産材の認知度が低い。 ・木を伐りたくても伐れない現状がある <p>○読み取った現状がなぜ課題なのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達の生活にも大いに影響が出る。 <p>○森林を守るための国の新たな取組について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境税が導入される。 ・細かい使い道はまだ決まっていない。 	<p>◎人工林の手入れに関する意識調査</p> <p>□様々な人が協力しているにも関わらず荒れた人工林が増える背景に着目させる。</p> <p>◎林業就業者数と高齢者比率の推移</p> <p>◎日本の森林の蓄積量</p> <p>◎多摩産材の認知度</p> <p>◎林業家のNさんの話</p> <p>★森林環境税の使い道と課題を関連付けて追記していく。</p> <p>◎森林環境税のイメージ図</p> <p>【知識h】 【態度】</p>
	<p>⑨ 森林資源を守るために国民として考えることを考える。</p>	<p>◆大切な森林をわたしたちはどのように守っていけばよいのだろうか。</p> <p>○森林環境税の使い道について考えて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備のために使う。 ・森林に親しんでもらうためのイベントを行う。 ・国産材をPRする。 <p>○学習を振り返り自分の考えをまとめて記述する。</p>	<p>◎関連図</p> <p>◎高知県の事例</p> <p>□関連図を基に森林環境税の使い道を考える。</p> <p>★未来に向け持続可能な視点で関わり方を考えさせる。</p> <p>【思・判・表】 【態度】</p>
<p>日本では林業家が減ったり、外国産に頼っていたり、国民の森林に対する関心が低かったりするなどの課題があるから、国は森林環境税という仕組みをつくって解決しようとしている。大切な森林を守り続けるために、国民一人一人が森林に関心をもつべき。私たちが森林税の仕組みを知ったり、できるだけ国産材の製品を買ったり、ボランティアで森林保全のイベントに参加したりできる。みんなが協力して森林を保全できる社会にしていきたい。</p>			

7 本時の学習① (1/9時間)

5年1組 小金井市立東小学校 主任教諭 山本 奈穂

(1) 本時のねらい

- 日本の森林の森林面積の割合が世界的にも高いことや森林には様々な役割や働きがあることを理解し、森林について関心をもつ。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□留意点 ★見方・考え方を働かす手立て ◎資料 ◆評価 (評価方法)
導入	<p>○身の回りにはどんな木でつくられたものがあるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆 ・机 ・ドア ・ノートなどの紙 木材は様々なところで使われていて身近なものだ。 <p>本時の問い 日本にはどのくらいの森林があるのだろうか。</p>	<p>◎将棋の駒と台 (写真)</p> <p>◎新国立競技場 (写真)</p> <p>◎森の動物 (写真)</p> <p>◎輪切りの木 (実物)</p> <p>□自分たちのくらしと森林が密接に関わっていることに気付かせる。</p>
展開	<p>○日本列島における森林の分布の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林が日本全体に広がっている。 関東地方には、他の場所よりも森が少ない。 四国地方や、中国地方に森が多い。 日本の森林率は6.7%だ。 日本の森林率は、世界で第3位だ。 <p>○森林の役割について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水をきれいにしてくれている。 家を建てる材料に使われている。 <p>○森林の役割や働きを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物のすみかとなっている。 木材を生み出している。 土砂災害を防いでいる。 空気をきれいにする働きがある。 キャンプやハイキングなど、森に入って楽しめる場所がある。 	<p>◎ランドサットの衛星写真</p> <p>★森林の分布に着目できるよう衛星写真で森林の広がりを視覚的に捉えさせる。</p> <p>◆日本は国土全体に森林が広がり、森林面積率は67%であり、そのうち人工林が約4割あることを理解している。</p> <p>【知識a】(ノート)</p> <p>□森林で林業体験したことを想起させ、森林のもつ機能について気付かせる。</p> <p>◎森林の役割 (絵・写真)</p> <p>◎森林の評価額 (経済面・環境面)</p> <p>□森林には環境面で70兆円分の価値があることを提示し自分たちの生活にとって大切であることに気付かせる。</p> <p>◆木材を供給したり、水資源を涵養したり、土砂災害を防いだりする森林の働きを理解している。【知識b】(ノート)</p>
終末	<p>○本時のまとめをする。</p> <p>・日本の森林面積の割合がこんなに高いことに驚いた。</p> <p>・森林には、水源となったり、土砂災害を防いだりする役割がある。</p>	<p>◆わたしたちのくらしと森林の関連について意欲的に調べている。</p> <p>【態度】(ノート・発言)</p>

<板書>

問い 日本にはどのくらいの森林があるのだろうか。

将棋

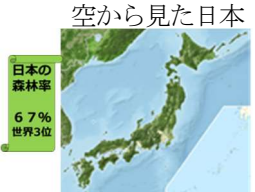
動物

共通点は、木や森

身の回りで木からできたもの

・机・えんぴつ・たな・紙・ドア

空から見た日本




日本の森林率
6.7%
世界3位

- ・森林が日本全体に広がっている。
- ・関東地方には、他の場所よりも森が少ない。

森林の働き

木材

土砂災害を防ぐ



レクリエーション

水源林

70兆円

ふりかえり

- ・日本の森林面積の割合がこんなに高いことに驚いた。
- ・森林には、水源となったり、土砂災害を防いだりする大切な役割がある。

本時の学習② (8/9時間)

5年2組 府中市立府中第四小学校 主幹教諭 向井 隆一郎

(1) 本時のねらい

- ・日本の森林保全が抱える課題について捉え、課題を解決するための取組に関心をもつ。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□留意点 ★見方・考え方を働かず手立て ◎資料 ◆評価 (評価方法)
導入	<p>○前時のふり返りをする</p> <p>○資料から日本の林業の現状について捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの市町村が人工林の整備が行き届いていないと感じている。 ・荒れた人工林がたくさんある。 	<p>◎関連図</p> <p>◎人工林の手入れに関する意識調査</p> <p>□様々な人が協力しているにも関わらず荒れた人工林が増える背景に着目させる。</p>
	<p>本時の問い 森林を守るために、どのような課題があるのだろうか。</p>	
展開	<p>○資料から森林に関わる日本の現状を読み取り、森林を守るための課題について考える。</p> <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業就業者が年々減り続けている。 ・人工林の蓄積量が増えている。 ・国産材の認知度が低い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を伐りたくても伐れない現状がある <p>○読み取った現状がなぜ課題なのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手入れが行き届かない森林が増え、森林の役割が保たれなくなり、災害の被害も増える。自分達の生活にも大いに影響が出る。 <p>○森林を守るための国の新たな取組について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民が住民税に1000円を上乗せして森林環境税を収める。 ・森林環境税を導入すると、地方公共団体が森林整備のために利用できるお金が増える。 ・細かい使い道はまだ決まっていない 	<p>◎林業就業者数と高齢者比率の推移</p> <p>◎日本の森林の蓄積量の推移</p> <p>◎多摩産材の認知度</p> <p>◎林業家のNさんの話</p> <p>□Nさんの話で、資料から読み取ったことを裏付ける。</p> <p>◎鬼怒川の氾濫の写真</p> <p>□これらの事実がなぜ課題なのかを話し合うこと通して改善策の必要性に対する切実感をもたせる。</p> <p>◆有効に活用できていない状況から日本の森林保全の様々な課題に気付いている。【知識h】(発言)</p> <p>◎森林環境税のイメージ図と東京都の森林課の人の解説</p> <p>★森林環境税の使い道と課題を関連付けて追記していく。</p>
終末	<p>○本時のまとめとめあてに対する自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境税を国民から集めて課題を解決しようとしている。 ・森林環境税はどうやって使っていくのかな。 	<p>◆森林環境税導入の目的を理解し、その使い道に関心をもっている。</p> <p>【態度】(ノート)</p>
	<p>・今の日本は、国産材が売れなく、働き手が減少し、森林の手入れが行き届かなくなり、荒れた人工林がたくさんある。この現状が続くと、国土の保全が保たれなくなり、災害などの被害が増えてしまうという課題がある。これらの課題を解決するために、森林環境税が導入されるようだ。しかし、まだ使い道は決まっていない。どう使っていけばよいのか考えていきたい。</p>	

<板書> 問い 森林を守るためにどのような課題があるのだろうか。

関連図

林業家や企業、国などが協力し合い森を守っていた。

人工林の手入れに関する意識調査

- ・木が倒れている。
- ・多くの市町村が人工林の管理が行き届いていないと感じている。

<整備が行き届かない原因>

- 日本の森林の蓄積量の推移
- 林業就業者数と高齢者比率
- Nさんの話

<林業の課題>

国民が森林に関心をもち、林業就業者や国産の木材利用率を増やすこと。

<森林環境税>

地方公共団体が森林整備のために利用できるお金が増える。

まとめ&森林環境税の使い道

今の日本は、国産材が売れなく、働き手が減少し、森林の手入れが行き届かなくなって荒れた人工林がたくさん生じた。このままだと国土の保全が保たれなくなり、災害などの被害が増えてしまう。この問題を解決するために国は森林環境税の導入することにした。